

公明党

3月定例会において令和6年度一般会計予算は369億3千2百万円、前年度比10・1%増と過去最高の予算の審議を行い可決いたしました。

子育てと教育環境の充実となる保育園の新設と増築の支援や長4小・長3小の再整備や、災害時の拠点となる小・中学校の体育館に空調整備が盛り込まれるなど地域の安心に繋がると期待するところです。

一般質問では①自治会等のデ

ジタル化などデジタル技術を活用しての取り組みについて②食品ロス削減を目的とする市民と店舗をマッチングさせるフードシェアリングの支援策を提案しました。総括質疑では「安心できる学校健診」について質疑しました。意見書案では若者のオーバードーズ（薬物の過剰摂取）防止対策を提案し、全会一致で可決されました。

今後小まな声を大切に安心安全なまちづくりのため働いて参ります。福島和人・石井啓子

平成西山クラブ

「令和六年度予算は過去最大規模の総額三六九億円」

所信表明において市長は「経済が上向く兆しをとらえ、新たなマインドをもって市政運営に当たるこのタイミングで、未来への投資をするかどうかがまちづくりに大きな影響を持つ」と語られました。前年度比較で三四億円を上回る予算です。その背景として、人口の微増傾向が継続し、市内の地価が上昇する

など税収の伸びにつながる要因があるとのこと、これは行政経営上、大いに期待がもてます。

しかし、様々な可能性を視野に入れた意欲的な「未来への投資」は、もしかすると回収までの期間がとも思の長いものなのかも知れません。その投資がどこまで必要なのか、どれほど有効なのか、我々もしっかりと調査研究しながら、引き続き積極的に議論していく覚悟であることを表明して令和六年度予算に賛成しました。

上村真造・白石多津子



会派の意見

文責は各会派にあります。

平成自民クラブ

令和六年度予算は子育て教育環境の充実として民間保育園新設増築の支援、長四小・長三小再整備と長五小拡大、学校体育館の空調整備、共生型交流エリアやインクルーシブ公園整備などの費用が計上され、賛成し可決しました。

中小企業振興融資制度の融資枠の拡大や農地保全事業として高温対策支援事業、農を通じた交流と地産地消の推進など商工

農業分野の振興を積極的に図る農業振興に賛成し可決しました。未来を描き紡ぐ展開について本市の魅力をいかに発信するか等を話し、ソーシャルメディア活用にはリテラシー教育を施し運用するとの答弁を得ました。

スポーツ・文化事業について話し、若葉カップ四十回記念大会・恵解山古墳公園十周年記念事業の概要を確認しました。

今後小まな暮らしを実感できる、安全・安心なまちづくりを推進していきます。

八木浩・中小路貴司

平成同志クラブ

今年の元旦に能登半島において最大震度7を記録する地震が発生しました。能登半島地震では広い範囲で断水が続く、水の確保ができない問題が起こりました。飲み水やトイレ、炊事洗濯などに使う生活用水から、いざというときの消火栓まで水道事業はライフラインを担う重要な事業であり、断水が市民生活に与える影響の大きさを改めて示すものとなりました。

令和六年度予算では基幹管路の耐震化や非常用備蓄水、非常用給水袋等に係る経費を計上されておられ、いつ発生するか分からない災害に備える予算となっています。今議会では、水道施設の強靱化と同時に、避難所となる学校での井戸掘削の有効性についても提案しました。もしもの時に備えて、使える井戸があると知ることとは地域住民の「安心」に貢献するものであることから前向きなご検討を要望して六年度予算に賛成しました。

田村直義・三木常照

長岡京未来の会

令和6年度的一般会計の予算総額は、約370億円と過去最大となりました。また市の借金は約389億円となっており、10年間で123億円もの増加となっています。そのため、現金対応の事業が削られています。主な要因は、建設規模の大きい庁舎建て替えです。昨年までは旧庁舎の解体でしたが、2期工事が始まっている今、この状態からどう改善していくか、3小

の建て替えや阪急長岡天神駅高架化、周辺整備を迎える中、待ったなしの状況になっています。学校健診では令和6年度も、医師会の見解に沿って、児童生徒全員が胸を見せる健診から変わりませんでした。胸を見せなくても「正確な健診」ができる方法を教育委員会と医師会で協議し、子どものアンケートを実施していただきたいこと、「胸を見せなくても良い」健診（モアレ検査）の導入に向けて会派として今後も取り組んでまいります。 小谷宗太郎・川口良江

長岡京黎明の会

令和6年第一回議会定例会では、令和6年度一般会計予算において、更なる定住促進と交流拡大を基本とし、積極的なまちづくりを進めるため、総額369億3200万円と過去最大規模の予算編成が行われました。慎重審査の結果、この基本方針を建設的に進めていただくことに期待を込め、若干の意見・要望を付して賛成を致しました。きめ細かな育児サービスを充

実させ、子育て環境を改善するために、福祉と教育の連携による不登校対応や引きこもり支援の拡充や、デジタル化の推進による市民の利便性向上と業務効率化を図ること。安心安全のまちづくりのため、民間保育所整備や小中学校の空調整備を進める他、身近な建築物の耐震化や改築を強く推し進めること等の内容について評価を致しました。これからも、安心安全で住んで良かったと実感できる長岡京市を目指して参ります。

富岡浩史・中村亮太

日本共産党

伸びる税収を市民生活充実に

今年度予算は税収等が大きく伸び、過去最大の369億円超となりました。物価高騰が重石となるもとで、市民生活の支援が求められています。

しかし、国保・介護・後期高齢の各保険料は全て値上げで、高齢者を直撃。子育て世代には、学校給食費を1人年間1万円近く値上げします。

一方で市長は、現状では十分

な費用対効果の見込めていない

「連続立休交差化」を含め大型開発を進める強い姿勢を示しています。他にも万博関連等の予算も組まれています。

市長の給与は報酬審の答申を受けアップ（減額措置の停止）。退職金を合わせた任期中収入は府内2位になります。市民負担増のもとで賛成はできないと判断しました。

党提案「共同親権に関し慎重な議論を」「政治資金の疑惑解明・再発防止を」の2意見書が可決されました。（広）

輝（かがやき）

令和6年第一回議会定例会に提案された第21号議案「令和6年度長岡京市一般会計予算」の審議においては、長岡京市がこれからも住み手に選ばれるまちとなるように願ひ、各事業に対して意見・要望をさせていただき、議案に賛成しました。一般質問では、5人全員が登壇しそれぞれ課題と考えている事に対して質問を行いました。そして、予算審査常任委員会

小委員会では、発言順で進藤議員・干場議員・富田議員が総括質疑を行い、行政側と議論を深める事が出来ました。

私達「輝」の議員は、市政課題について行政側に意見反映を行い、市民の皆様がつながりを大切に更に活躍できる輝くまちを目指し邁進してまいりますので、引き続きご指導・ご支援を賜りますよう、よろしくお願ひ申し上げます。

富田 達也・進藤 裕之
宮小路康文・干場志都恵
大伴 望